

北海道創生タスクフォースの推進方向 (広域リージョン連携宣言)

北海道は、豊かな自然や冷涼な気候、多様な再生可能エネルギー、高い食料供給力といった世界に誇るポテンシャルを有しており、経済・エネルギー・食料の安全保障の観点からも我が国において重要な役割を果たしている。

広大な面積を有する本道において、こうした各地域の特色ある資源を結びつけ、最大限に活用し、地域の成長やイノベーションの創出により、本道の持続的な発展につなげていくためには、これまで以上に官民が連携しながら広域連携の取組を強化する必要がある。

こうした状況を踏まえ、国の地方創生の基本構想や広域リージョン連携推進要綱を踏まえ、北海道創生タスクフォースを中心とし、今後、次のとおり取り組んでいくこととする。

記

1 広域リージョンの名称・区域
・名称 北海道創生タスクフォース
・区域 北海道

2 構成団体の名称
北海道、北海道経済連合会

3 目指すべき姿
人口減少下においても力強く経済成長を実現し、発展する北海道の実現

4 広域リージョンで取り組むことを想定する分野
北海道の持続的発展に不可欠であり、かつ本道の強みを活かした地域資源等の活用が見込める政策分野の充実・強化を進めることから始め、それぞれの成果を確認しながら、段階的に取組を拡大・発展させていく。

- ①次世代半導体・AI-DX・宇宙関連産業
- ②食・観光関連産業
- ③GX・ゼロカーボン産業

2026年(令和8年)2月5日

北海道知事 鈴木 直道
北海道経済連合会会長 藤井 裕